

三高生の自主的な活動

■「三高みんなの食堂プロジェクト」

全体代表 3年3組 亀井 遼樹

私たち「三高みんなの食堂プロジェクト」は一言で言うと「生徒が主体となって様々な人と協力し、学校食堂を盛り上げる活動」です。そしてその食堂を中心にして地域を元気にしていくことをめざしています。生徒の中から有志のプロジェクトリーダーが中心となり、現在は50人を超える規模となり非常に有意義な活動ができています。プロジェクトリーダーは食堂の発展のためなら基本的に何をしても良く、校内に畑を開墾し野菜を育てる、SDGsに繋がる新メニューを開発する、地域のイベントでマルシェを出店する等、人によって様々です。プロジェクトリーダー以外の生徒も、食堂の利用や様々な形で応援してくれたり学校全体で食堂を盛り上げようとする意識ができています。また、地域の方々とのさらなる交流も視野に、地域の方々に予約制で食堂を利用して頂けるように準備も進めています。私たちにとってこの活動は、大学で学びたいことを見つけたり、将来したいことを見つけたりと、自分の未来へと繋がる活動でもあるので、さらなる発展を目指し皆で頑張っていきたいと思っています。

さて、8月16、17日にプロジェクトを代表し、1年生2名、2年生2名、そして私の5名で、東京で開催された「高校生ボランティア・アワード2022」に出場しました。このアワードは、さだまさしさんが会長を務める「風に立つライオン基金」が主催しており、今年も全国からの応募で選ばれた97団体が一堂に会して発表しあいました。各校それぞれブースを設け、ブースを見学するグループとブースで発表する



全国高校生ボランティア・アワード2022

グループに分かれ、それぞれ交代しながら2日間通して非常に活発に交流ができて、我々も積極的に参加することができました。ボランティア活動を頑張る高校生の貴重な交流の場となりました。初めてこのような交流の場に立ったことで、人と上手くコミュニケーションを取る力であったり、自ら考えて行動する力には自信ができました。

授賞式では大会委員長さだまさしさんの名を冠する賞を頂くことができ、自分たちの活動がこんなにも評価していただけるものだということを確認し、今後の活動に全校生で取り組んでいきたいと思いました。

我々はこのプロジェクトをさらに発展させさらに地域に根ざし、学びの場になる素晴らしい食堂を作り上げ、そこから地域を元気にしたいと思っています。応援してくださっているすべての皆様に感謝するとともに、今後とも活動へのご理解ご協力のほどよろしくお願いします。



■虎丸ゼミ

<概要>

放課後や休業日に実施する自由参加のゼミ。自分の意思で自分のために参加し、自分自身の充実と経験を高めるために参加する。目的は、主体的に学ぶ経験をすること、広く関心を持ち自ら接する分野を増やし視野を広げること、自分のめざす分野を深く知ることや自分の適性の確認などである令和2年11月に開始し、各分野で活躍しているプロフェッショナルから双方向の話し合いで学び取るゼミとしてこれまで24回実施している。

<実施例>

大学教授による大学での学びや研究についてのゼミ、東かがわ市長とのトーク、本校出身のプロ野球選手、管理栄養士による味についての実習付きのゼミ、東かがわ活性隊隊長の地元の飲食店店主、外務省による外交の現場、日本政策金融公庫のビジネスの基礎、大学生によるアートについてのゼミ、病院で過ごす子供たちを支援するNPO、税務署職員と税理士、シリーズ市役所で危機管理課による防災とまちづくりや市教育委員会による東かがわの英語教育、フラワーアレンジメント、看護系大学に合格した本校3年生によるゼミ、など多様なゼミを開催している。